

## 平成 26 年度 地球環境基金助成事業・県民の環境活動支援事業

## ちば里山カレッジ(次世代リーダー)実施報告書(4)

特定非営利活動法人ちば里山センター

テーマ	第 4 回 SATOYAMA 活動フィールド実習 「SATOYAMA 活動が創り出す地域の未来」
日時	平成 27 年 1 月 31 日 (土) 8 時 30 分～16 時 30 分
場所	船橋市 白井市 佐倉市
出席者	<p>受講生 (28 名) 担当理事 (2 名)・スタッフ</p> <p>講師：千葉県農林総合研究センター森林研究所 主席研究員 福島 成樹</p> <p>講師：船橋市役所 農水産課園芸農産係 係長 山越祐一 主事 山本達也 (特非) ちば里山センター 副理事長 鈴木恵子</p> <p>講師：NPO 法人しろい環境塾 理事長 小池正夫 副理事長 南波悠二郎</p> <p>講師：佐倉市都市部公園緑地課 岩井 優 環境部環境政策室 主査 大塚 孝</p>
内容	<p>8:30～10:00 「船橋市の里山活動」 県民の森 こびすクラブ活動地訪問 船橋市役所 農水産課園芸農産係 係長 山越祐一 主事 山本達也 (特非) ちば里山センター 副理事長 鈴木恵子</p> <p>10:30～12:00 「NPO 法人 しろい環境塾」 活動地訪問 理事長 小池正夫 副理事長 南波悠二郎</p> <p>14:00～15:30. 「佐倉市 (仮称) 佐倉西部自然公園」 訪問 佐倉市都市部公園緑地課 岩井 優 環境部環境政策室 主査 大塚孝</p> <p>16:30 千葉駅 解散</p>
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>船橋市の総面積 8,564ha のうち森林面積は 454ha。船橋市では、森林所有者又は経営の委託を受けたものが、一体的まとまりのある森林の施業及び保護を目的に 5 年を 1 期として森林経営計画を立て実施している。この計画書に基づき委託契約をうけて施業しているボランティア団体 (26 年度現在 8 団体) の中の NPO 法人こびすクラブの活動地である県民の森を訪問した。森林ボランティア団体への行政の支援としては ①整備機材及び消耗品の購入 ②整備機材の貸出し (チェーンソー、利払い機、チルホール等) ⇒機材購入に係る経済的負担の軽減を図っているとのこと。課題としてはボランティアの育成をして森林経営計画を支え維持してもらえるボランティアの増員が必要とのこと。</li> <li>しろい環境塾はすでに 14 年間の活動を経て着々と成果をあげている。 単なる森林整備に終わらず地域の活性化に大きな力となっていることがうかがわれる。 近年では農園経営にも活動が広がっている。子供の環境教育として田んぼの学校も継続している。 年間 700 万円以上の経営規模というからすごいパワーである。徹底したボランティア精神で、会員には報酬なしとのことであった。</li> <li>最後は佐倉市の「(仮称) 佐倉西部自然公園」を訪問。長期間耕作放棄された農地や山林を市民協働により整備することで、里山景観と多様な動植物の生態系を復元するために、平成 19 年度に「畔田谷津ワークショップ」が設立され、事務局は環境政策課が務めているとのこと。 広大な地域の整備保全是大変だと思うが、自然生態系も徐々に戻ってきているようで、今後が楽しみなところである。地元地域と協議しながら進めているそうである。</li> <li>福島講師にはそれぞれの活動において考えるべき視点のヒントを教えていただいた。</li> </ul>

 <p>千歳地区 市民の森配置図</p>	 <p>船橋市役所職員の説明</p>	 <p>市民の森の所長（右）</p>
 <p>市民の森を歩く</p>	 <p>バスの中で福島講師の解説</p>	 <p>しろい環境墊が整備している森林</p>
 <p>森林整備担当南波副理事長</p>	 <p>「田んぼの学校」を実施する田</p>	 <p>竹林整備の後始末</p>
 <p>暖かいトン汁をいただいて昼食</p>	 <p>拠点内の竹炭班</p>	 <p>佐倉市耕作放棄地の谷津田整備</p>
 <p>長年の間に不法投棄されたものが集められ山になっていた</p>	 <p>群田谷津環境保全整備事業 整備事業の掲示板</p>	 <p>畑の横の広場</p>
 <p>佐倉市役所から説明</p>	 <p>同</p>	 <p>広大な場所であった</p>